

2023年10月期

決算補足説明資料

ハミダセ、アミダセ。

萩原工業 株式会社 証券コード:7856

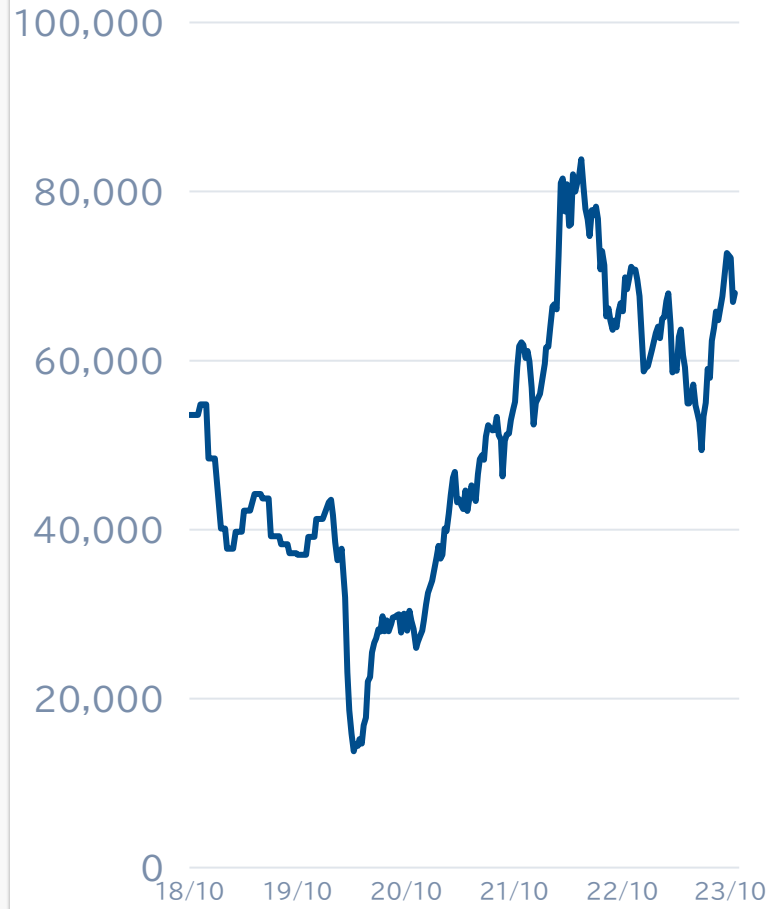
©2023 Hagihara Industries Inc.

①	2023年10月期 業績ハイライト	P 4
②	エリア/セグメント/子会社概況	P 9
③	バランスシート/その他指標	P11
④	キャッシュ・フロー	P15
⑤	業績予想	P16
⑥	SDGs分類	P17
⑦	トピック	P19
⑧	中期経営計画進捗状況	P21

(参考)事業環境指標

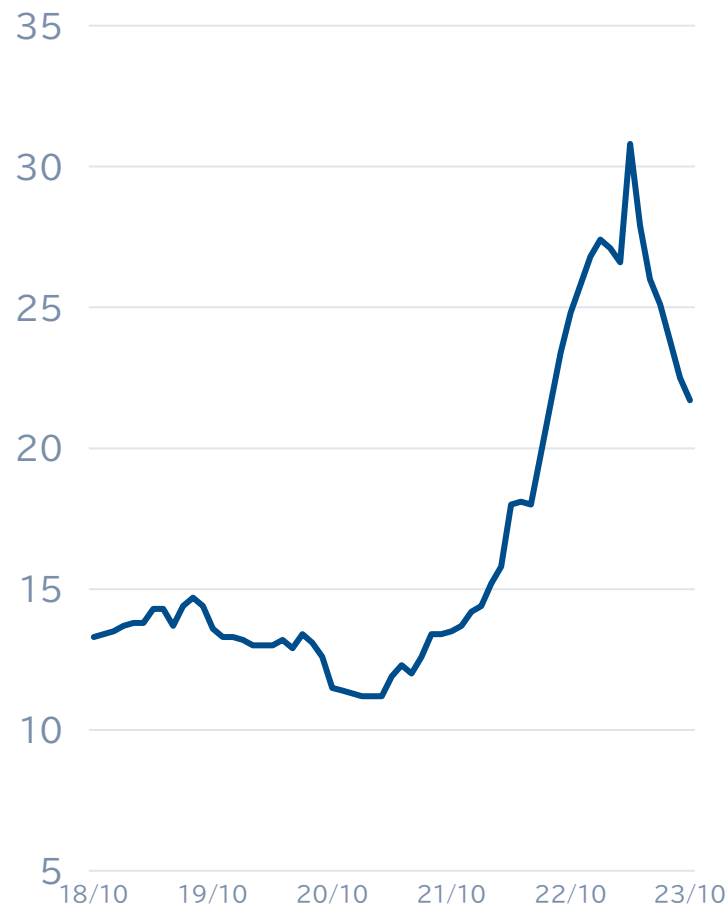
ナフサ

(円/KL)



電力費

(円/kWh)



US\$

(円)



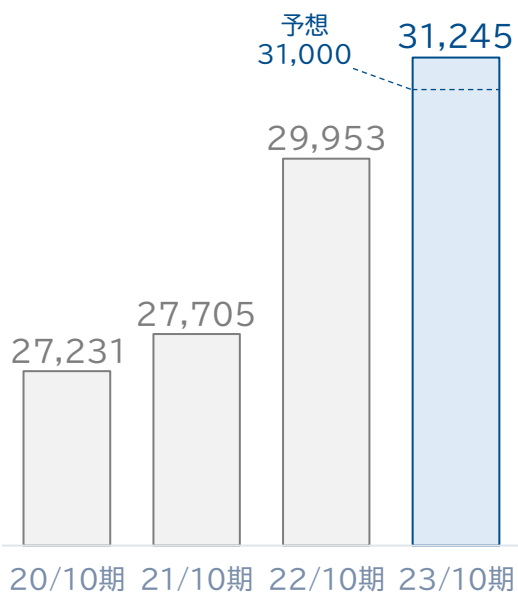
業績ハイライト ー連結ー

売上高

31,245百万円

前期比 +4.3%
(+1,292百万円)

(百万円)

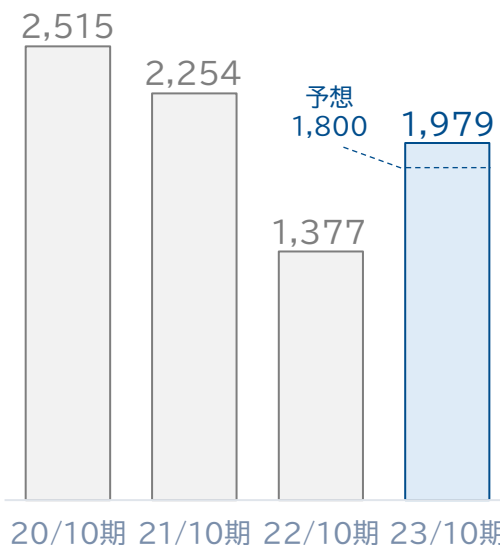


営業利益

1,979百万円

前期比 +43.7%
(+602百万円)

(百万円)

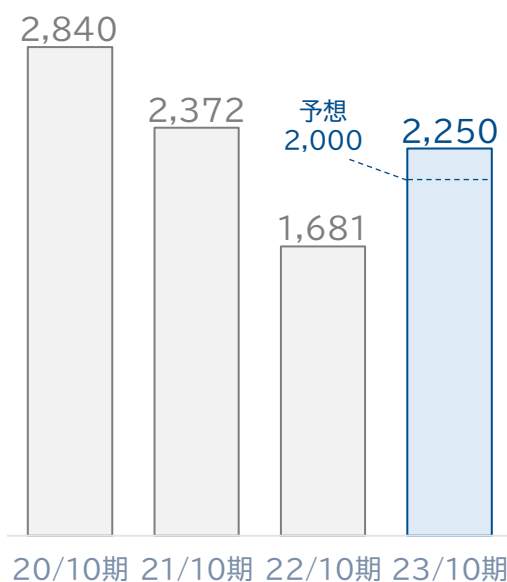


経常利益

2,250百万円

前期比 +33.8%
(+569百万円)

(百万円)

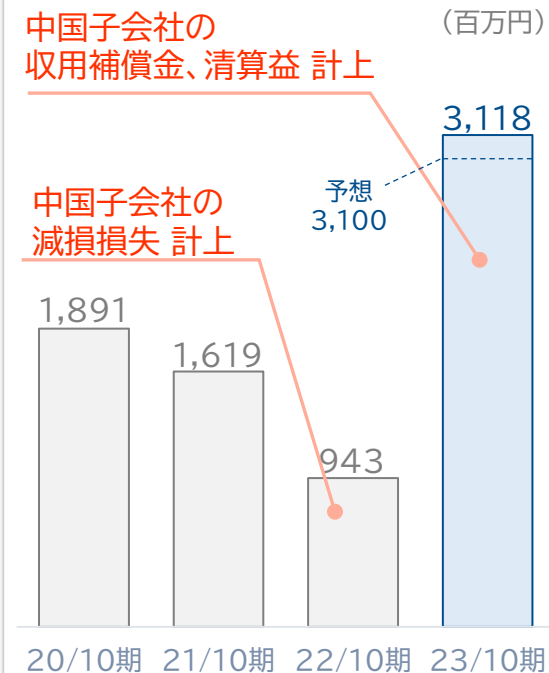


親会社株主に帰属する
当期純利益

3,118百万円

前期比 +230.7%
(+2,175百万円)

(百万円)

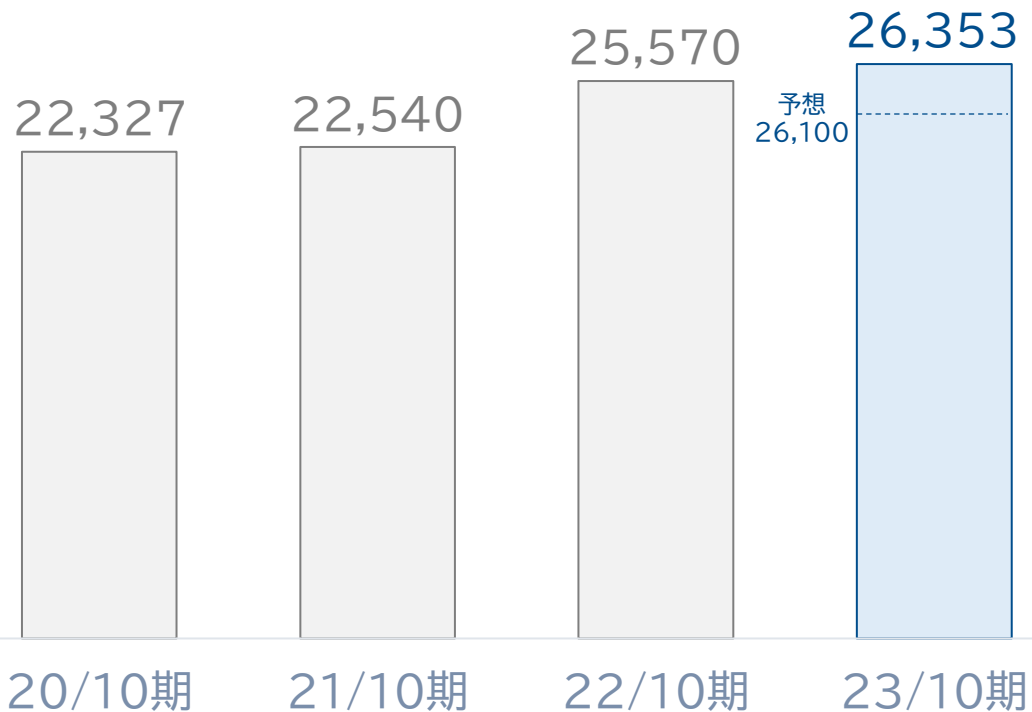


業績ハイライト -合成樹脂加工製品事業-

売上高

26,353百万円 前期比 **+3.1%**
(+782百万円)

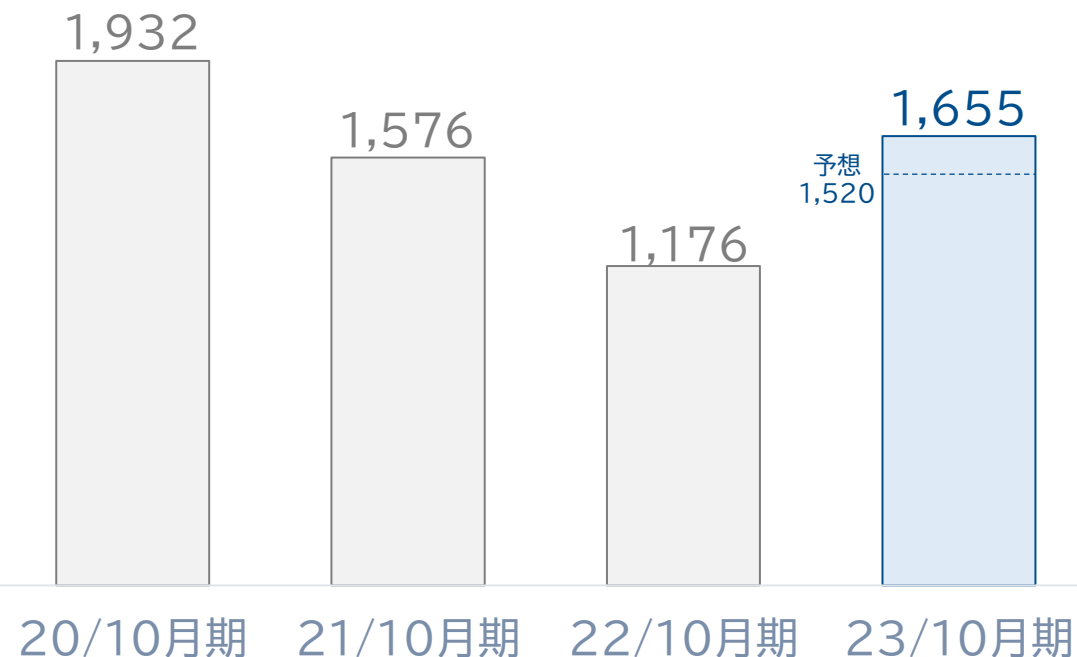
(百万円)



営業利益

1,655百万円 前期比 **+40.6%**
(+478百万円)

(百万円)



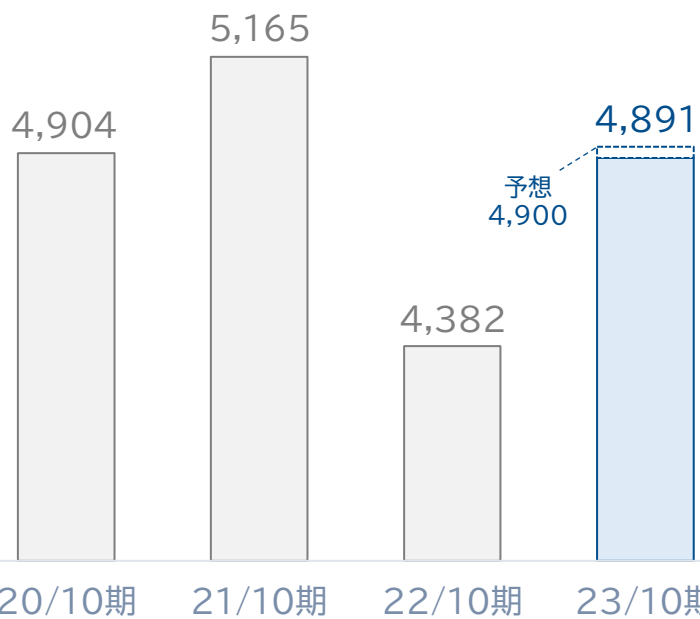
業績ハイライト -機械製品事業-

売上高

4,891百万円

前期比 +11.6%
(+509百万円)

(百万円)

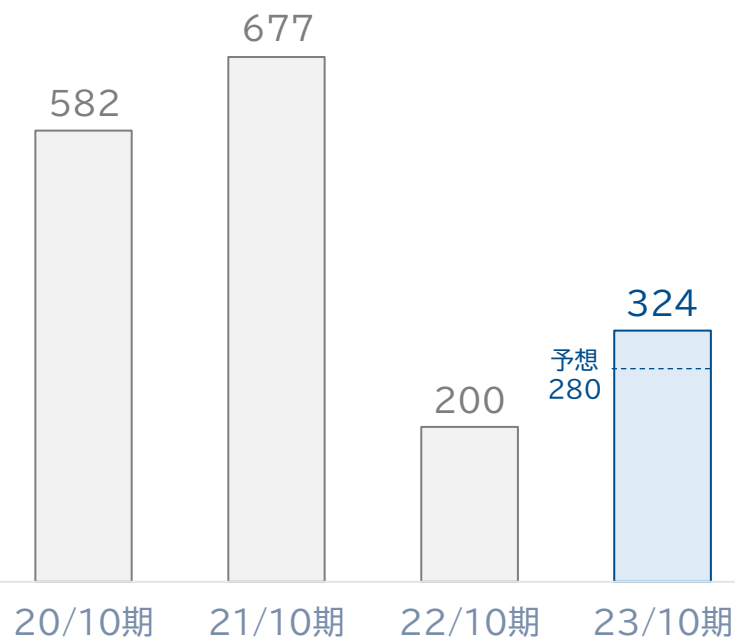


営業利益

324百万円

前期比 +61.8%
(+123百万円)

(百万円)



受注残高

6,944百万円

前期比 +26.5%
(+1,457百万円)

(百万円)



売上高分析

(百万円)

22/10

29,953

合成樹脂

+2,915

▲2,479

+345

機械

+509

23/10

31,245

主な要因

▶販売単価UP 原材料価格等の価格転嫁

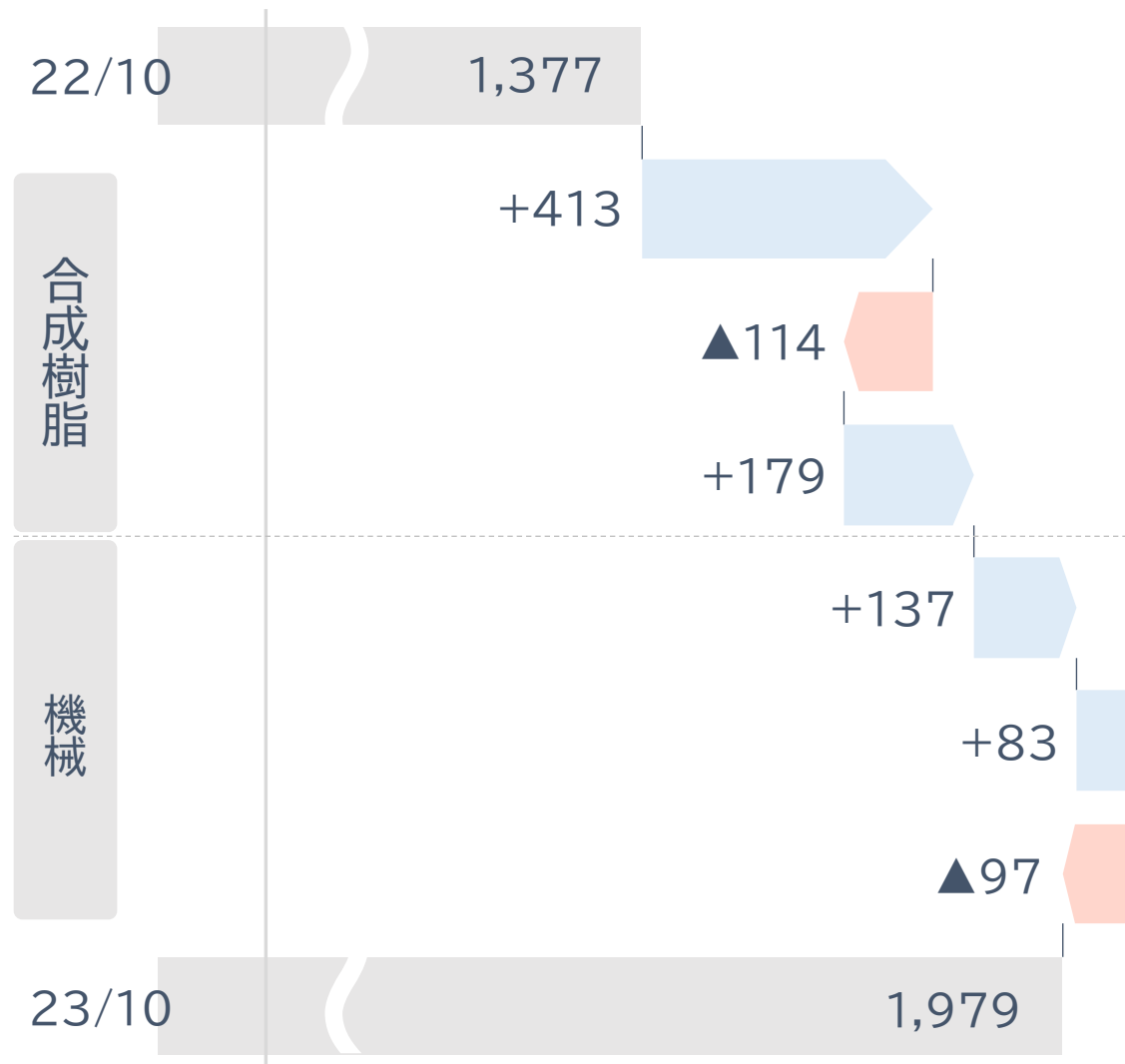
▶販売数量減少(フレコン、シート、原糸等)

▶為替影響 円安による増収

▶機械製品事業の売上増収(フィルムスリッター等)

営業利益分析

(百万円)



主要要因

- ▶売上高増加による影響
- ▶電力費上昇等によるコストアップの影響
- ▶販管費減少による影響
- ▶売上高増加による影響
- ▶スクリーンチェンジャーの利益率改善
- ▶販管費増加による影響

エリア/セグメント別 売上高

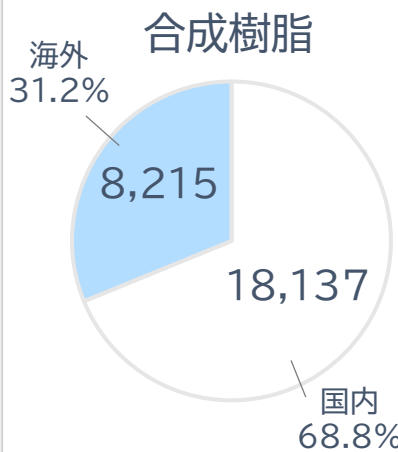
海外売上高

全社 9,302百万円



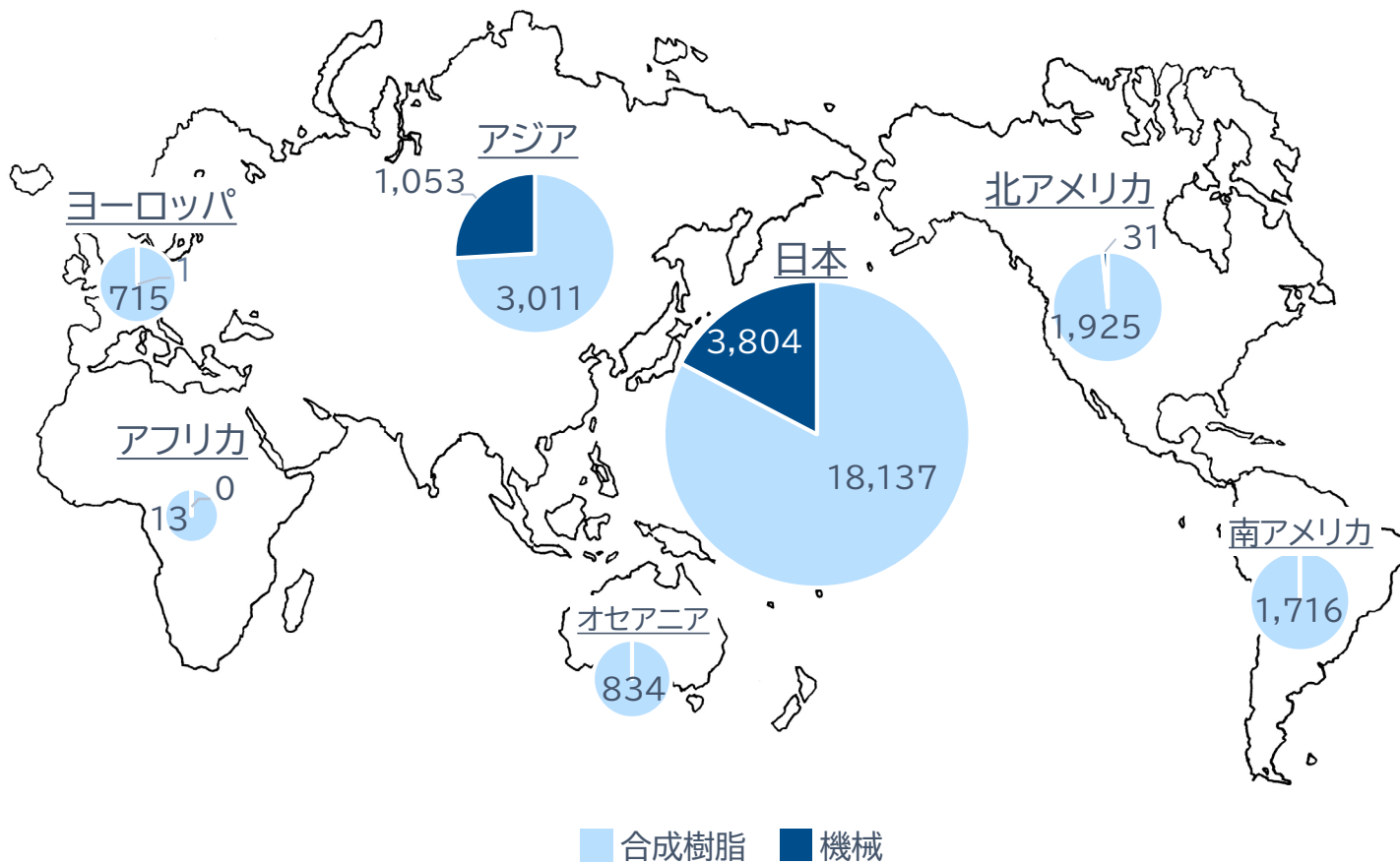
海外売上比率

全社 29.8%



エリア別 売上高

(百万円)



セグメント・子会社

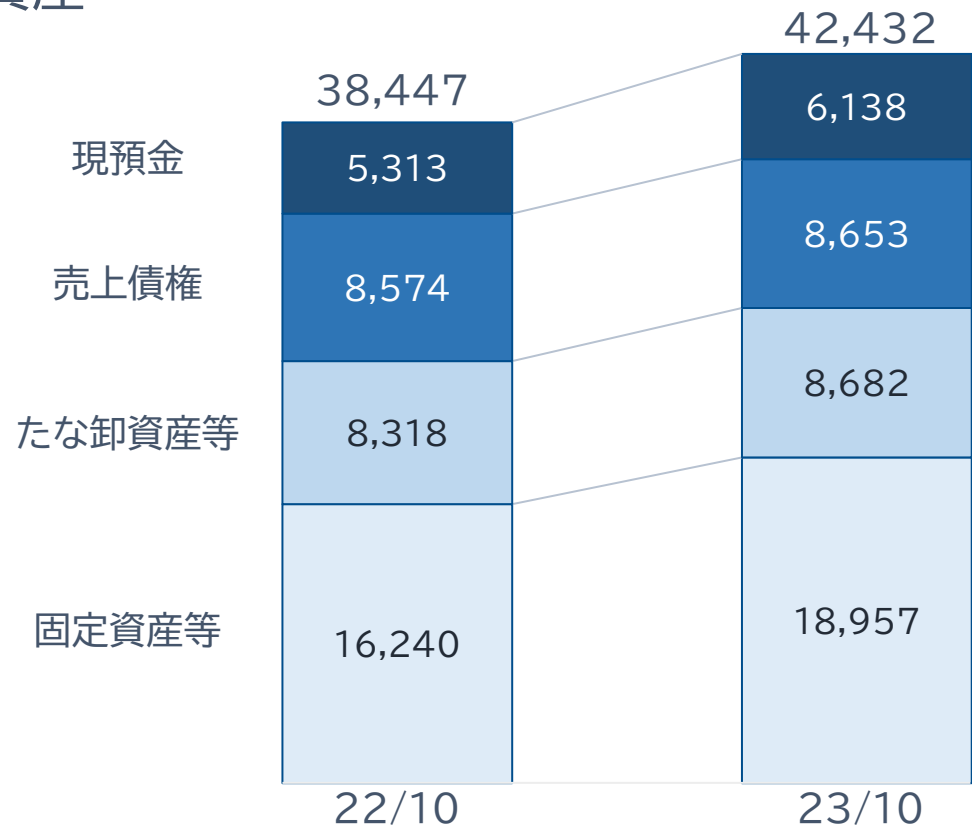
(百万円)

	22/10		23/10		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
萩原工業	14,618	437	15,188	534	570	96
日本ファブウエルド	375	12	408	▲72	32	▲85
PT. HWI	5,294	282	4,591	73	▲702	▲208
BarChip Group	4,152	408	4,476	308	324	▲99
バルチップ	1,663	459	2,057	958	393	498
東洋平成ポリマー	4,306	86	4,226	103	▲80	17
合成樹脂 計	25,570	1,176	26,353	1,655	782	478
萩原工業	4,323	187	4,807	272	484	85
萩華(上海)	633	▲32	668	43	34	76
機械 計	4,382	200	4,891	324	509	123

バランスシート

資産

(百万円)

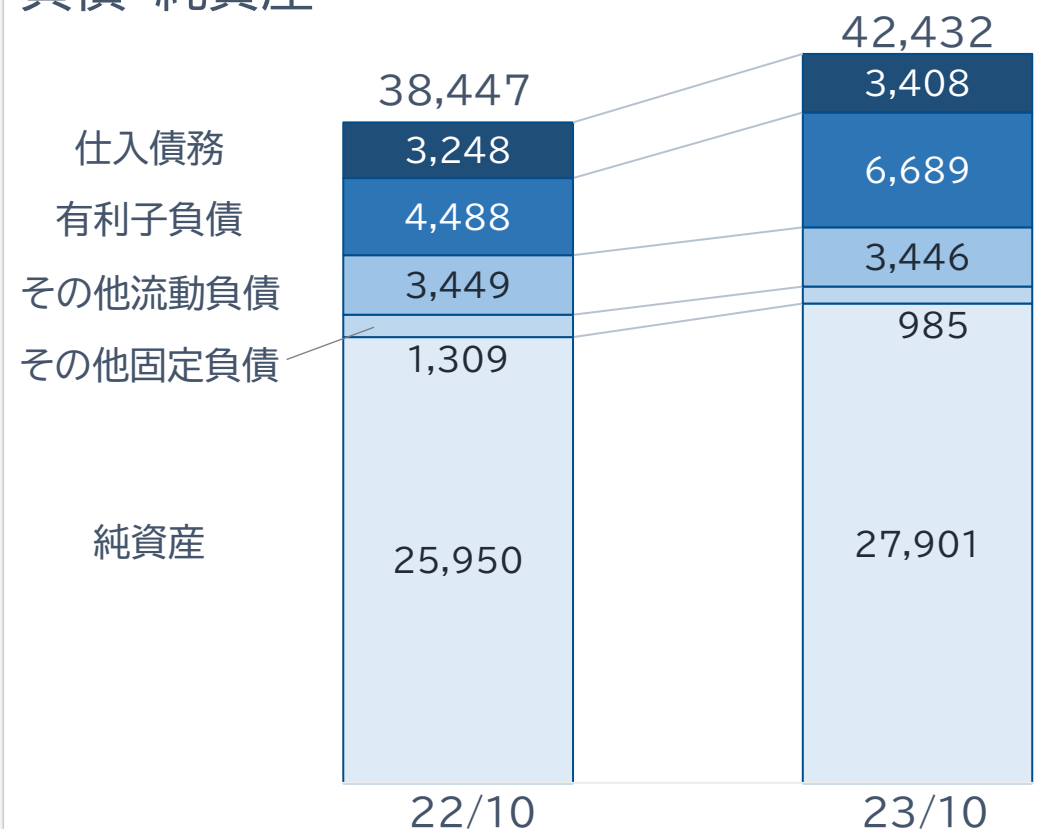


総資本回転率 0.78回

0.74回

負債・純資産

(百万円)



D/Eレシオ
(負債/株主資本)

0.5

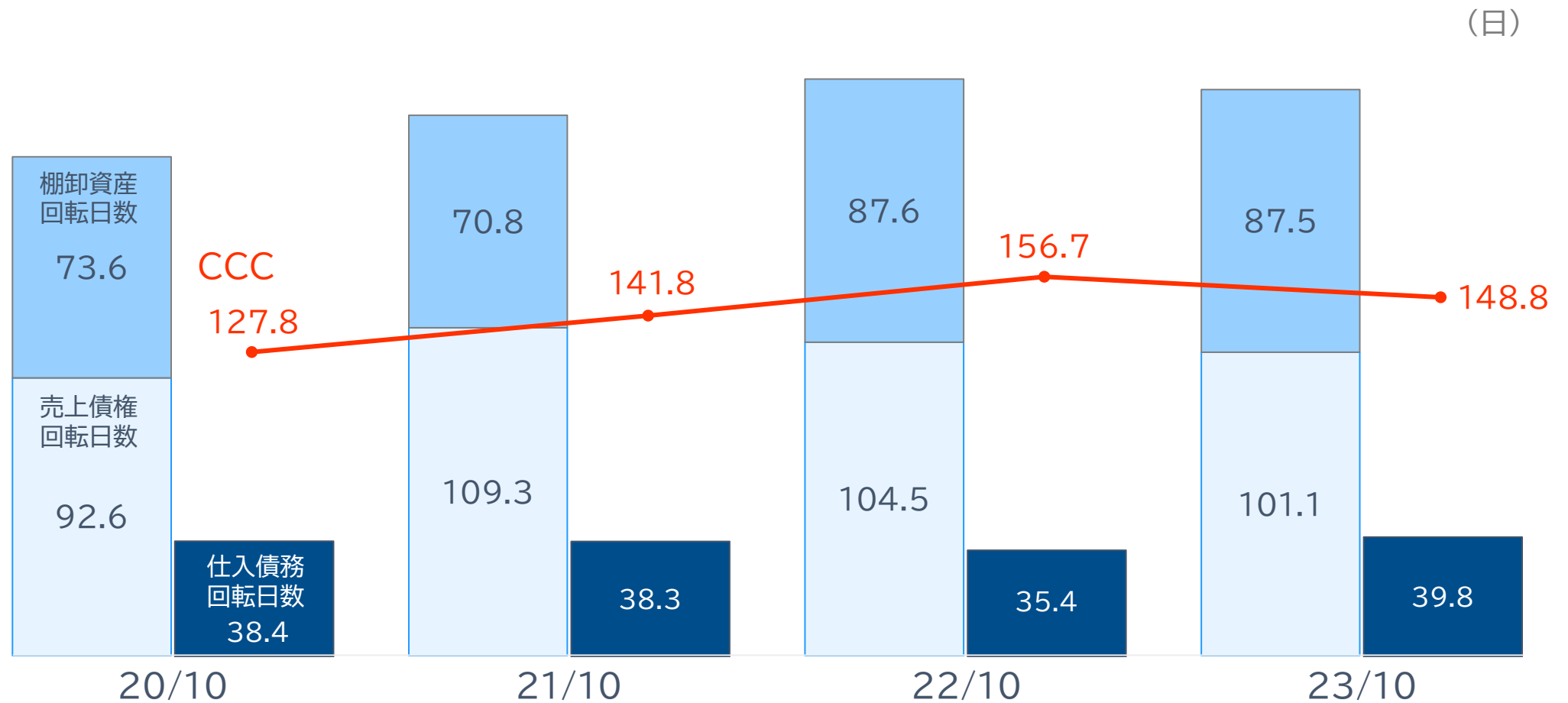
0.5

自己資本比率

67.4%

65.6%

CCC(キャッシュ・コンバージョン・サイクル)



※CCC = 棚卸資産回転日数 + 売上債権回転日数 - 仕入債務回転日数

各種数値・指標

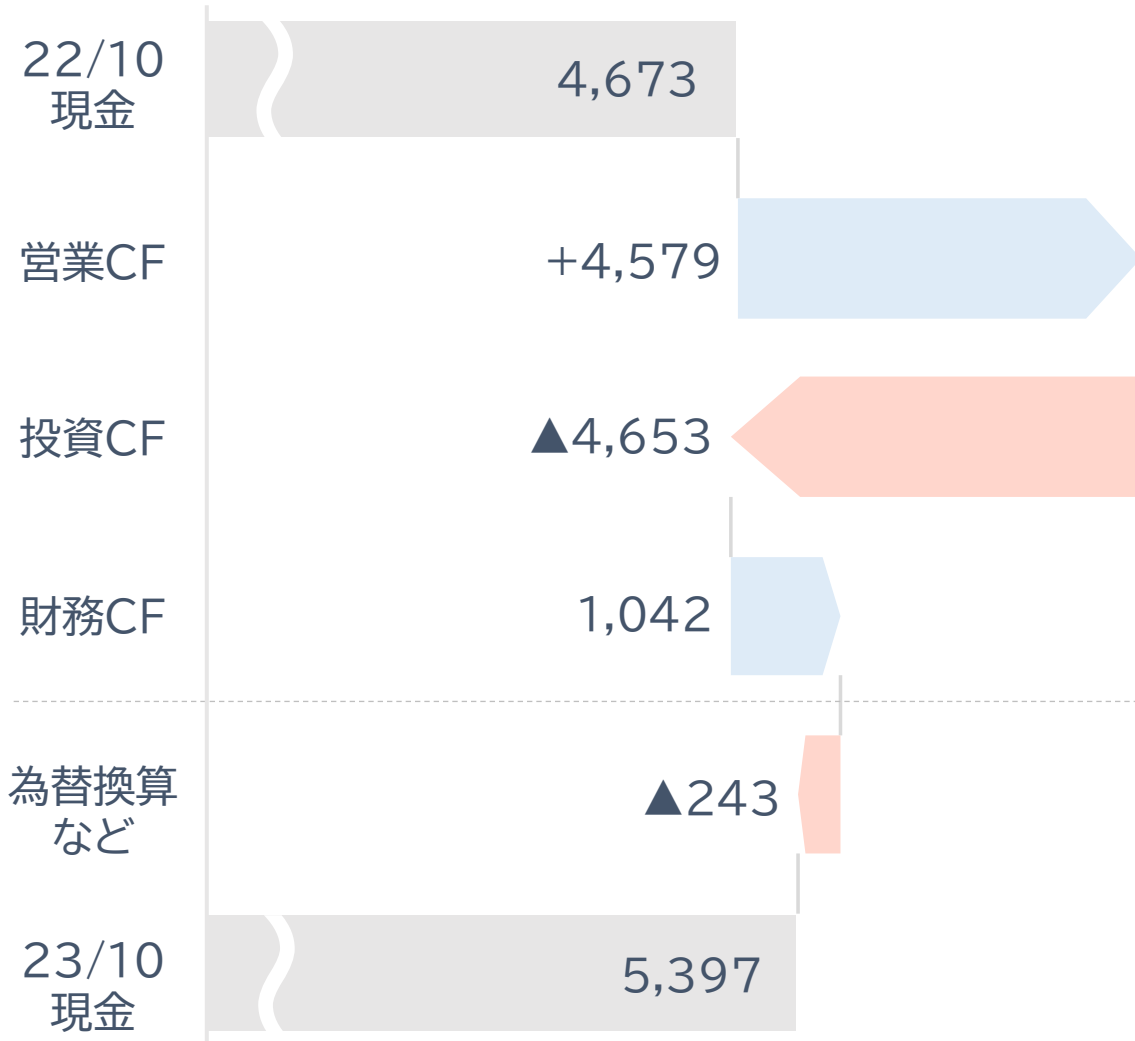
	20/10	21/10	22/10	23/10
ROE(%)	8.2	6.6	3.7	4.8 [※]
ROA(%)	5.8	4.8	2.6	3.3 [※]

※2023年10月期第1四半期及び第3四半期において計上した土地収用補償金及び子会社清算益を除いて算出。

主要株式指標

	20/10	21/10	22/10	23/10
株価(円)	1,486	1,500	1,021	1,605
配当額(円)	36	36	36	50
配当性向(%)	27.5	32.2	54.7	22.4
BPS	1,625円54銭	1,744円15銭	1,856円11銭	2,028円93銭
PBR	0.91	0.86	0.55	0.79
株主数(人)	16,239	18,908	31,252	33,074

キャッシュ・フロー



●営業C/F

内訳	金額
税金等調整前四半期純利益	+ 4,498
減価償却費	+ 1,503
売上債権増加	▲ 8
棚卸資産増加	▲ 169
仕入債務減少	▲ 14
法人税支払	▲ 1,027

●投資C/F

内訳	金額
有形固定資産取得	▲ 4,410
フリーC/F	▲ 74

●財務C/F

内訳	金額
短期借入金減少	▲ 439
長期借入れによる増加	+ 2,800
長期借入金返済	▲ 178
配当金支払	▲ 603
現金及び現金同等物の増加額	+ 724

中国子会社の
収用補償金 計上 (百万円)

業績予想 一連結

(百万円)

	23/10期			24/10期(予想)			前年 同期比較
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	15,930	15,314	31,245	15,950	16,050	32,000	+2.4%
連 営業利益	1,010 (6.3%)	968 (6.3%)	1,979 (6.3%)	1,120 (7.0%)	1,080 (6.7%)	2,200 (6.9%)	+11.2%
結 経常利益	1,091 (6.8%)	1,159 (7.6%)	2,250 (7.2%)	1,180 (7.4%)	1,120 (7.0%)	2,300 (7.2%)	+2.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,246 (14.1%)	871 (5.7%)	3,118 (10.0%)	830 (5.2%)	770 (4.8%)	1,600 (5.0%)	▲48.7%

下段()は利益率



気候変動適応力への貢献



国産シート



粘着テープ

(百万円)

	21/10期 通期実績	22/10期 通期実績	23/10期 通期実績
国産シート	1,957	2,238	2,550
粘着テープ原反	2,019	2,020	2,343
気候変動適応力 計	3,977	4,259	4,894



働き方改革への貢献



ライトクリアメッシュ



バルチップ施工例

(百万円)

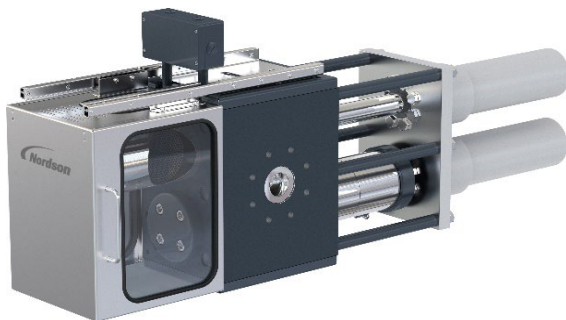
	21/10期 通期実績	22/10期 通期実績	23/10期 通期実績
防災・メッシュシート	933	963	963
バルチップ	3,680	4,825	5,289
働き方改革 計	4,613	5,789	6,253

12
つくる責任
つかう責任

循環型社会づくりへの貢献



エコマーク取得のブルーシート
(再生原料使用率60%)



スクリーンチェンジャー

(百万円)

	21/10期 通期実績	22/10期 通期実績	23/10期 通期実績
エコフレンドシート	47	76	184
スクリーンチェンジャー	594	930	787
リサイクル機器	116	124	234
循環型社会づくり 計	759	1,131	1,205

9
産業と技術革新の
基盤をつくらう

産業と技術革新の基盤づくりへの貢献



電子部品製造工程用
フィルムスリッター



(参考)スリットされた素材

(百万円)

	21/10期 通期実績	22/10期 通期実績	23/10期 通期実績
フィルムスリッター	3,413	2,862	3,109
紙スリッター	925	392	519
産業と技術革新の基盤 づくり 計	4,339	3,255	3,628

■Hagihara Industries Yguazu SRL 完成

南米地域初のバルチップ工場がパラグアイに完成しました。2023年9月19日には、日本国大使や現地政府要人をはじめ多くの来賓のご臨席の下、竣工式が盛大に開催されました。今後は、成長著しいブラジル市場への製品供給をはじめ、巨大な南米南部共同市場（メルコスール）の経済補完協定を活用し、さらなる販路拡大に取り組めます。



■新型印刷機導入による新たな印刷シート事業開始

2023年10月、お客様のシートへの多様な印刷ニーズにお応えするため、5m幅まで対応可能なUVインクジェット印刷機を笠岡工場に導入し、新たな印刷シート事業を開始いたしました。

■ポーランドにて、ストラクチャー用途に初採用

牛舎用(66m x 30m)で、8棟の施行が完了し、計26棟を施行予定です。ブロック作りからPVC、PVCからポリエチレン製の当社シートに変更されました。当社の技術により、

- ①溶着強度が高く丈夫
 - ②3.6mの広い幅で加工コスト削減
 - ③軽くてハンドリングが容易
- といったベネフィットを提供いたしました。



■東洋インキ株式会社・相川鉄工株式会社との共同開発契約

2023年11月27日、当社は、より高品質なプラスチックリサイクルを実現するため、東洋インキ・相川鉄工と「共同開発研究契約」を締結いたしました。今後、2025年、洗浄・脱墨・異材質分離・再生等のリサイクルシステムをワンパッケージとしてマーケットに提供することを目指してまいります。

中期経営計画進捗状況 -投資-

(億円)

	23/10期 実績	25/10期 目標	備考
戦略投資	7	40	・金属箔スリッター技術譲受 ・海外生産推進 (パラグアイ及びアメリカ)
笠岡工場	25	25	2023年5月竣工
維持更新投資	12	40	・生産性向上 ・高付加価値化
計	44	105	

中期経営計画進捗状況 -財務戦略-

	23/10期 実績	25/10期 目標	備考
ROE(%)	4.8	8.0	2023年10月期は、土地 収用補償金及び子会社清 算益を除いて算出
D/Eレシオ (負債/株主資本)	0.5	0.6	

中期経営計画進捗状況 -株主還元-

	23/10期 実績	25/10期 目標	備考
配当額(円)	50	50	2023年10月期より 36→50円へ増配
配当性向(%)	22.4	40.0	収用補償金及び子会社 清算益を除いた場合 → 52.0
総還元性向(%)	39.7	70.0	同上 → 92.2

【資料についてのご注意】

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみにより全面的にご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行われぬようお願いいたします。

お問い合わせ先

萩原工業株式会社
事業支援部門(吉田)

MAIL: info@hagihara.co.jp

URL : <https://www.hagihara.co.jp/>